

風水害について

～大雨が降る前、台風が来る前に備えましょう～



近年の風水害の特徴～線状降水帯～

線状降水帯の発生メカニズム

③大気の状態が不安定で湿潤な中で積乱雲が発達

積乱雲

④上空の風の影響で積乱雲や積乱雲群が線状に並ぶ

積乱雲・積乱雲群

②地形などの影響で空気が持ち上がり雲が発生

地形など(山)

線状の強い降水域

①地表付近を中心に大量の暖かく湿った空気の流入が継続

寒気

寒冷前線

暖かく湿った空気

特別警報とは

気象庁が**大雨**、**地震**、**津波**、**高潮**などにより重大な災害の起こるおそれがあるときに警報を発表します。

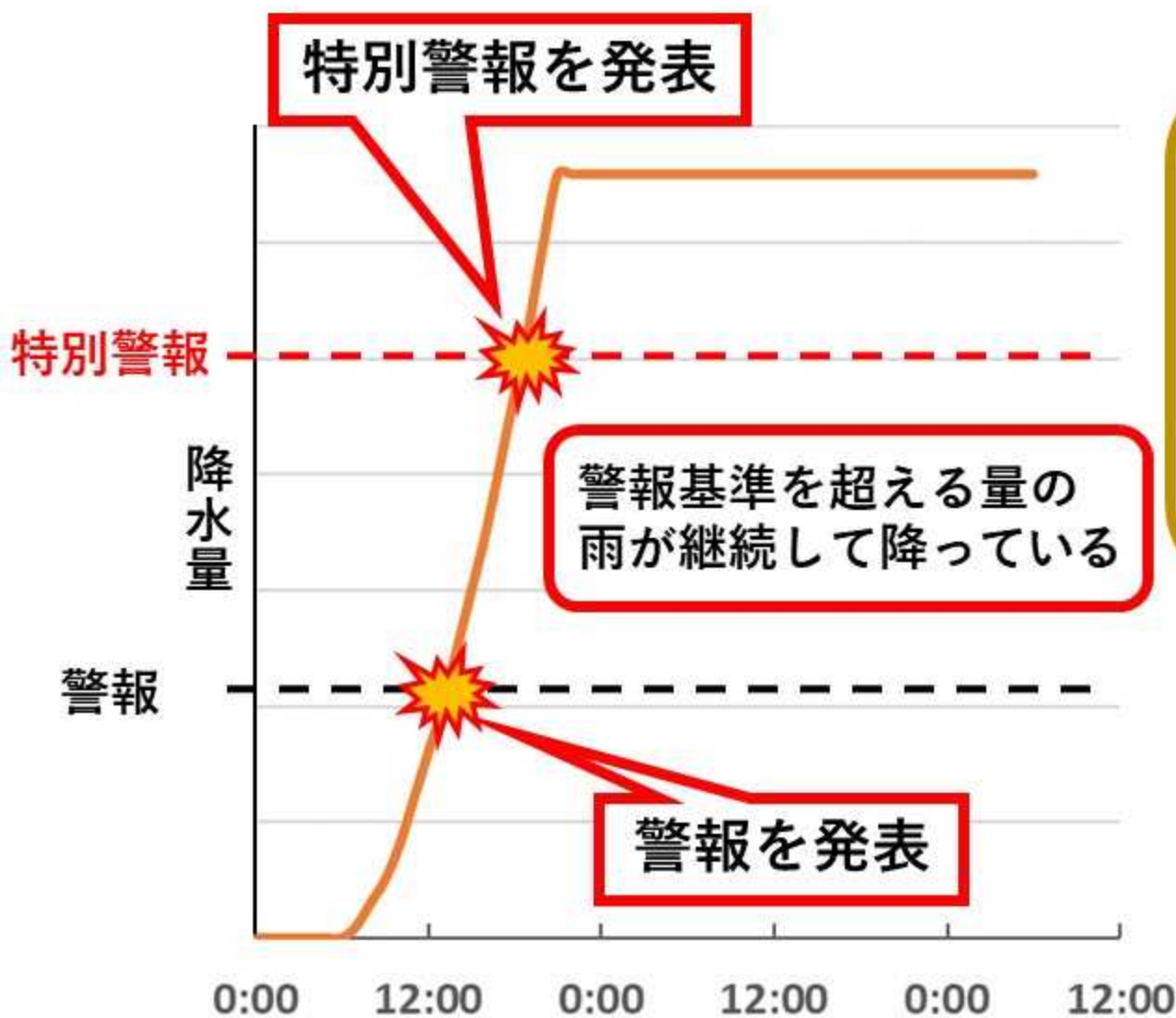
重大な災害がおこるおそれが著しく高まった場合

【特別警報】が発表されます。

特別警報ってよく聞くけどどういうときに発表されるの？
言葉だけではイメージできないなあ



特別警報のイメージ (図)



警報発表後、**警報基準を上回る量**の雨が継続した場合発表されるのかあ

でも避難っていつしたらいいのかなあ



警戒レベル ～避難勧告等に関するガイドライン～

平成31年に【避難勧告等に関するガイドライン】が改訂されました。

住民がとるべき行動を直感的に理解しやすいよう5段階の警戒レベルで明記されています。

警戒レベル4までに必ず避難！！！！

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生している状況 命を守るための最善の行動が必要	災害発生情報 (市町村が発令)
警戒レベル4 全員避難	速やかな避難先への避難が必要 避難場所までの移動が危険な場合は自宅等安全な場所に避難	避難勧告、避難指示 (市町村が発令)
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人とその支援者は避難 その他の人は避難準備	避難準備、高齢者等避難開始 (市町村が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認	洪水注意報、大雨注意報等 (気象庁が発表)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう	早期注意情報 (気象庁が発表)



本所防災館で風水害の危険性と対策を学ぼう！

本所防災館は、風水害から身を守るための知識や行動力を習得できる

【川の手防災館】です！



暴風体験コーナー



都市型水害コーナー

各種風水害に関する体験ができます♪



ここだよ！



場所：〒130-0003 東京都墨田区横川4-6-6

交通：JR総武線錦糸町北口、半蔵門線錦糸町駅4番出口から徒歩10分
京成押上線・都営浅草線・東武スカイツリーライン・半蔵門線押上駅B1,B2出口から徒歩10分

開館時間：午前9時から午後5時まで（最終受付：午後4時半）

休館日：毎週水曜日・第3木曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

